



たまボラ

発行：東大和市社会福祉協議会
所在地：東大和市中央3-912-3
電話：042-564-0012（代表）
FAX：042-564-3680

～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

東大和市社会福祉協議会 フードバンクの取組



○東大和市社会福祉協議会では、フードバンク事業に取り組んでいます。ご家庭で消費できない食品や、食べられるのに廃棄対象になってしまう食品を地域の皆さまや企業等から寄附をしていただき、食品を必要とされている方にお渡しする活動です。（写真は、昨年のフードパントリーの様子）

【フードバンク事業に関するQ & A】

- Q 食品や生活用品を寄附したいけどどうしたらいいの？
A 社会福祉協議会窓口で受付けています。（フードドライブ）
- Q どのようなものを寄附したらいいの？
A お米（白米・玄米・アルファ米）・缶詰・レトルト食品・インスタント食品・パスタ・調味料等

【注意事項】

- ※賞味期限が明記されているもので、未開封であるもの。ただしお米は除く。
（現在は、賞味期限が令和6年1月1日以降のものを受付けています。）
※破損で中身が出ていないもので、常温保存が可能なものです。

【問合せ】

東大和市社会福祉協議会
住所：〒207-0015 東大和市中央3-912-3
TEL：042-564-0012



今号の主な記事



- p.2 夏！体験ボランティア事業について
- p.3 みつけた！こんなところにこんなイベント
「夏！体験ボランティア小学生向け特別メニュー」のご報告
- p.4 お知らせ・情報提供等



令和5年度

今年の夏！体験ボランティア

~このような場所でボランティア体験をしました~



■高齢者施設■ デイサービスセンター風の樹

デイサービスセンター風の樹では、利用者と一緒にゲームをしたり、体操をしたりと「利用者とのふれあい」を中心に活動をしました。参加者は「介護という場で実際に活動することで、分かったことがたくさんあった」「他の分野でも意欲的に参加したい」と話していました。

利用者の方と
トランプをしている様子



■障害者施設■ みんなの家

みんなの家では、利用者とビニール袋を畳む作業を体験しました。参加した学生は、作業をしながらも和やかに利用者とのコミュニケーションをとっていました。利用者の方々も終始笑顔で、とてもいい雰囲気の中で活動されていました。



ビニール袋を畳むコツを教わりました

■児童施設■ 谷里保育園児・ボア

谷里保育園児・ボアでは、園児と一緒におもちゃで遊んだり、おやつ配膳・下膳、ミルクをあげたりしました。参加者の活動は3日間でしたが、最終日には、園児の名前を呼んで声かけができた、コミュニケーション作りにも成果がありました。感想では「活動する前は不安があったが、最終日には活動をして良かった、楽しかったと思った」「来年も活動したい」と話していました。

「ミルク、おいしいね」



■グループ関係■ 東大和音訳グループ

今年は、本センターに登録している21のボランティアグループから、東大和音訳グループの協力を得てボランティアグループの活動体験を実施しました。東大和音訳グループは、視覚障害者の方等のために印刷物（市の広報等）を音声化し、録音図書を作成しているグループです。

参加者は社協だよりの記事の音訳を行い「音訳のやり方やグループの活動の様子が分かって、良い体験となった」と話していました。



■小学生特別メニュー■

今年の「夏！体験ボランティア」小学生向け特別メニューは①切手ボランティアグループの活動を体験しよう！②楽しく学ぶ、防災とボランティア！③狭山緑地を元気にしちゃおう！の3つを実施しました。今年の夏は暑かったですが、その中でも参加者の皆さんは、楽しく学びながら体験しました。

①切手を整理中（外国の切手や珍しい切手も発見！）



②防災について学んでいます！



③狭山緑地での体験



～ボラセン委員訪問録～

「夏！体験ボランティア 小学生向け特別メニュー」
～楽しく学ぶ、防災とボランティア～

みつけた！
こんなところに
あんなイベント



私は、小学生向け特別メニューの1つである「楽しく学ぶ、防災とボランティア」に参加しました。「子どもたちに防災をもっと身近に楽しんで身につけてほしい」という目的で行われた今回のメニューでは、「イザ！カエルキャラバン」というプログラムの中から3つのメニューが実施されました。参加者は、小学生以外に大人の参加もあり、チームに分かれてメニューに挑戦しました。

(1) なまずの学校

このメニューは、地震や津波による様々なトラブルに対し、役に立つアイテムを考てもらう防災カードゲームであり、阪神・淡路大震災や東日本大震災を体験された方々へのヒアリングやアンケートをもとに制作されています。私自身、初めての経験でした。頭を使いながら、楽しく考えることができました。今回以上に大人数で実施すると、様々な意見が共有できたり、楽しみながら役に立つゲームではないかと思いました。



使用するカード

(2) 紙の食器とスリッパづくり

このメニューでは、地震で食器が割れた際や、水道が止まって食器が洗えない際に役立つ、新聞紙や不要チラシを使用した簡易な食器をつくる方法を学びました。紙コップとお皿。これにラップやビニールをかけるだけで、立派な食器であることが理解できました。そして新聞紙でつくるスリッパは、新聞紙でスリッパの形をつくり、中に段ボール等の厚紙を入れたら立派なスリッパが完成しました。衛生面や保湿性からもとても良いものだと感じました。



新聞紙使用！



紙スリッパ・紙コップ
上手にできた！



(3) 毛布担架

このメニューは、身の回りにある毛布で応急的に担架をつくり、けが人を搬送する方法を体験を通して学ぶことができるものでした。重さ2.3kgのカエルくんを毛布に乗せて「よいしょ！よいしょ！」とかけ声を出しながら搬送体験をしました。体験を通して、その場にあるもので担架をつくり、協力しながら行動することの大切さを再確認できました。



東大和ボランティア運営委員 長澤 妙子

「イザ！カエルキャラバン」とは

子どもたちに防災をもっと身近に、もっと楽しんで身につけてほしいという思いから作られたもので、家族や友達と楽しみながら防災知識が体験できます。内容は、1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災で被災された方々の声をもとに、開発・改良され作られているものです。「楽しい」だけでなく、万が一の震災時に役立つ実践的な内容になっています。

募集 ● 2024年度（公財）東京市町村自治調査会「広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体募集」

「多摩地区を元気にしたい！」そんな市民活動を行っている皆さんのイベントや事業を応援します。市町村の枠を越えて行われる多摩地域の市民交流やまちづくりの推進につながる事業（文化・スポーツ・環境・福祉・生涯学習・子育て・防災活動等の発表の場等）について、活動経費の一部を助成します。

【申請期間】 2023年10月16日（月）～
11月30日（木）

【助成率】 助成対象経費の50%（100万円を超える金額は10%）で120万円以内

※助成についてご質問等ありましたら、お問い合わせください。



【問合せ】

（公財）東京市町村自治調査会
企画調査部企画課
TEL：042-382-7781

募集 ● 高齢者施設から、ボランティア募集がありました。

【やまと苑】

やまと苑喫茶室での接客店員ボランティアを募集しています。主にお店を利用するご利用者の対応です。ゆったりと穏やかな喫茶店です。

週に1日から数日でも可能ですので、ご興味のある方はご連絡ください。

【内容】 1階喫茶室での接客店員。コーヒーメーカーでコーヒーを作ったの提供・販売

【活動人数】 1日1名

【活動曜日】 月曜日～土曜日

【活動時間】 13:00～14:00

～やまと苑の内観と利用者様～



【問合せ】

特別養護老人ホームやまと苑
東大和市狭山2-1264-5
TEL：042-563-8181（担当：鈴木・山本）

★祝！空堀川を考える会★

本センター登録ボランティアグループの「空堀川を考える会」が「第58回東京都公園協会賞 奨励賞」を受賞されました！「東京都公園協会賞」（公益財団法人東京都公園協会賞）は、東京を緑豊かな都市にするため、「水と緑」の普及啓発等に参加・貢献した個人、団体を対象に公募し、優れたものを表彰しています。「空堀川を考える会」は「空堀川清掃活動を中心とした“いい川づくり”、“いいまちづくり”による持続可能社会の実現」が高く評価され、奨励賞（ボランティア・社会貢献活動部門）を受賞されました！おめでとうございます！



募集 ● 第46回福祉祭のボランティアを募集しています！

【日時】 11月12日（日）
10:00～14:30

【会場】 東大和市役所中庭とその周辺
（予定）

【募集人数】 15名程度

【活動内容】

- 駐輪場の整理
- 受付の手伝い 他



活動のできる方は、お気軽に東大和ボランティア・市民活動センターまでお問い合わせください。皆さまのご協力をお待ちしております。

【問合せ】

東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：042-564-0035 FAX：042-564-3680